

幌別小学校と幌別東小学校の統合に関する学校統合委員会 第3回新校区検討部会 議事録

日時 令和4年9月7日（水）18時00分

会場 鉄南ふれあいセンターホール（3F）

出席者 （委員）

齊藤委員、赤坂委員、原委員、田中委員、岡崎委員、山田委員、鳴海委員、藤江委員、古田委員、村上委員、森委員、竹中委員、荒関委員、太田委員、伊清委員、柴田委員、猪子委員

（事務局）

堀井部長、中島参与、館下次長、近間総務 G 総括主幹、西川原学校教育 G 総括主幹、中井学務主幹、蓬田主査

○部会長 時間となりましたので、これより、幌別小学校と幌別東小学校の統合に関する学校統合委員会の第3回新校区検討部会を開催いたします。

前回は、幌別東小学校で取り組まれてきた特色ある教育、「幌別駒おどり」の取扱いについて、前々回に引き続き協議しました。

その結果、現在の駒おどり保存会が中心となった地域の支援を前提に、統合後の幌別小学校において、総合学習の一環として「幌別駒おどり」に取り組むことが確認されました。

本日も引き続き、統合後の課題に関し議論を進めますが、今回は、幌別東小学校校区で実施されてきた「放課後子ども教室」の統合後のあり方について協議したいと思います。

ただ、部会員の皆さんにとっては、「放課後子ども教室」といってもイメージしづらいところがあるかと思いますので、はじめに会議次第2の資料説明として、「放課後子ども教室」の概要について、事務局より説明を受けたいと思います。それではよろしくお願ひします。

○事務局 (資料に基づき説明)

○委員 (事務局より説明後、放課後子ども教室の運営に携わる委員より、幌別東小学校区の取組に関し説明)

○部会長 ありがとうございます。事務局と委員より「放課後子ども教室について」説明がありました。これについて質問等はありませんでしょうか？

○部会長 無いようですので、続きまして、会議次第3の協議事項に移ります。協議事項「(1) 放課後子ども教室の今後のあり方について」であります。放課後子ども教室」の統合後のあり方を検討するにあたり、議論のポイントなどに関し事務局で資料を用意しているとのことですので、説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○部会長 事務局より、「放課後子ども教室」の統合後のあり方を考えるためのポイントについて説明がありました。ポイントとしては、「幌別小学校区の放課後児童支援環境」と「担い手」の2点であり、このうち前者については、「放課後子ども教室」は児童館の直接来館と重複する部分が多く、統合に合わせて新児童館が幌小敷地内に整備されることなども踏まえて必要性を検討しなければならないが、一方で児童館では得られない体験を提供している部分もあるので、そうした部分も踏まえて検討する必要があるとのことでした。また、「担い手」については、「放課後子ども教室」は地域の参画を前提に実施する事業であり、地域の担い手の存在が前提になるとのことです。まずは東小学校区で「放課後子ども教室」を実施している東小校区実行委員会の話を聞く必要があるとのことでした。そこで、具体的な協議に入る前に、引き続き、東小校区実行委員会の委員に、統合後の事業継続の意向や統合後の同教室のあり方などに関し考えを聞いてみたいと思います。よろしくをお願いします。

○委員 新しく幌別小学校のプール跡地に児童館や児童クラブができれば、仮に、幌別小学校の空き教室で放課後子ども教室をやる場合、子どもたちの選択肢が2つになってしまいます。確かに、放課後子ども教室は、子どもたちだけでは体験できないことを提供してきたわけですが、新しい児童館において、地域の協力を得ながら、放課後子ども教室で提供してきたようなことをやっていくことで、一本化してもいいのではないかと考えています。幌別東小学校区での活動を見ても、児童館が小学校に隣接して以降は、利用者が少なくなっていますので、そうしたことを考えても、現実的には、両方をやる必要はないのではないかと思いますので、児童館整備後の状況を見て、あらためて検討してもいいのではないのでしょうか。

○部会長 統合後の「放課後子ども教室」のあり方などに関し話がありました。統合後の幌別小学校区では、児童館が幌小敷地内に整備され、直接来館も実施されて非常に利用しやすくなるなど、放課後児童の支援環境は現在よりも充実するので、統合後の幌別小学校区での「放課後子ども教室」の実施については、現時点で判断するのではなく、統合後の状況なども見ながら、その時点で判断してはどうかとの話でした。さきほどの事務局の説明も含めて、委員の皆さんから質問や意見はありませんでしょうか？

○委員 新しい児童館完成後は、児童館と放課後児童クラブの児童厚生員は何名体制になるのでしょうか。やはり、学校の敷地内にできて利用しやすくなれば、利用者も増えるような気がします。完成は先の話ですので、まだ決まっていないかもしれませんが。

○事務局 委員もおっしゃったように、開設までまだ3年近くありますので、現時点で児童厚生員が何名体制になるかは、現時点で決定していないものと思われま。ただ委員ご指摘のように、2つの学校がひとつになるわけですし、学校敷地内に整備され、非常に利用しやすい環境になりますので、利用者が増える可能性は高いように思われます。さきほど申し上げたように、現時点で明確にお答えすること

はできませんし、市の組織で言えば、保健福祉部の所管になりますが、当然、利用者の見込みをたてながら、不足がないよう人員配置がなされるものと思っております。

○部会長 ありがとうございます。その他ご質問や意見等ありませんでしょうか？

○部会長 幌別東小学校区の放課後子ども教室では、芋掘り体験や焼き芋など、普段経験できない貴重な経験を提供してきたものと思いますので、統合後の幌別小学校においても、放課後子ども教室という形はとらないにしても、地域の協力を得ながら、児童館で同様の事業を行うということも、統合後の状況を見ながら検討していけばいいものと思います。それでは、放課後子ども教室の統合後のあり方については、統合後の幌別小学校区では、放課後子ども教室を個別に実施することは行わず、児童館に一本化することとし、児童館における取組に関しては、新児童館建設後の状況、統合後の幌別小学校区における放課後児童の支援環境なども見ながら、その時点で検討するというところでよろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○部会長 本日は、「放課後子ども教室」の統合後のあり方について議論を行ってまいりました。「放課後子ども教室」については、統合後の幌別小学校区では、放課後子ども教室を個別に実施することは行わず、児童館に一本化することとし、児童館における取組に関しては、新児童館建設後の状況、統合後の幌別小学校区における放課後児童の支援環境なども見ながら、その時点で検討するとのことで議論がまとまりました。

○事務局 今後の方向性をあらためて整理させていただくと、現在、幌別東小学校区では、児童館と放課後子ども教室という2つの事業が別々に行われているわけですが、統合後の幌別小学校区では、幌別小学校敷地内というかなり利用しやすい場所に新たな児童館が整備されますので、統合後は両事業を別々に行うのではなく、

児童館に集約していくということかと思えます。ただ、単純に児童館だけということではなく、統合後の状況も見ながら、児童館において、地域の皆様にもご協力いただき、現在、放課後子ども教室でやっているような、様々な体験を提供していくことも検討していく。登別市では、中学校区ごとに地域学校協働本部が設置され、この協働本部で地域の皆さんの参画により様々な事業に取り組んでおりますので、この協働本部が検討の中心になろうかと思えます。そのような方向性で意見をまとめるということでもよろしいのかと思えますが、いかがでしょうか。

○部会長 いま事務局より、部会としてのまとめに関し補足がありました。これについて質問などはありませんでしょうか？

(なしの声あり)

○部会長 それでは、事務局より補足説明のあった趣旨で意見をまとめたいと思います。次回の会議についてですが、次回も引き続き、課題への対応方法などに関し、その詳細を議論していきたいと思います。具体的なテーマに関し事務局より説明をお願いします。

○事務局 次回の部会では、統合前に実施する児童同士の交流事業に関し、具体的な協議をお願いしたいと考えております。これについても、事務局より案をお示し、これに関し部会員の皆さんからご意見を伺いたいと思っております。

○部会長 事務局より、次回の内容などについて説明がありましたが、これに関し委員の皆さんから質問などはありませんでしょうか？

○部会長 最後に会議次第4の「その他」について、事務局より何かありますでしょうか？

○事務局 次回の部会については、10月14日金曜日、時間は本日同様18時から、場所についても本日同様、鉄南ふれあいセンターホールを予定しております。具体

的な内容に関しては、後日、事務局より連絡させていただきます。

○部会長 その他、委員の皆さんから何かありませんでしょうか。無いようですので、これで「第3回新校区検討部会」を終了します。皆さん、長時間にわたりありがとうございました。